

Close up

「敬和学園大学のキリスト教主義教育」
宗教部長 下田尾治郎

学生寮のご紹介/台湾長栄大学サマーキャンプ
学長ビジョン④/佐渡・粟島でのアクティブラーニング

敬和祭・ふれあいバラエティのご報告
入学試験のご案内/新任教員からのごあいさつ
授業紹介⑧「キリスト教学」下田尾治郎





復興ランチ



粟島プロジェクト



認知症カフェ

アクティブラーニング紹介⑧ 「まちカフェ・りんく」

新発田駅前通りの空き店舗を利用し、学生が中心となり「まちカフェ・りんく」を運営しています。ここでは、カフェの経営を基盤としながら、地域コミュニティ再生を目指した活動を行っています。

また、最近では、「復興支援インターン」における復興支援ランチの提供や「粟島プロジェクト」における粟島フェア・ランチの提供、「認知症カフェ」の実施など、他のアクティブラーニング活動の拠点としても活用されています。

もくじ CONTENTS

Close up	1
「敬和学園大学のキリスト教主義教育」 宗教部長 下田尾治郎	
学生寮 リベラルアーツの学びを深める寮生たち…	4
台湾長栄大学でのサマーキャンプに参加	6
佐渡でのアクティブラーニング	6
学長ビジョン④「敬和学園大学とキリスト教」.....	7
粟島でのアクティブラーニング	7
参加者の輝きを引き出した 敬和祭	8
一般・センター利用入試のご案内.....	8
利用者の方と楽しんだ ふれあいバラエティ.....	9
学業選抜特待生制度のご案内.....	9
新任教員ごあいさつ	10
英語文化コミュニケーション学科 荒木陽子 共生社会学科 坂東希	
授業紹介⑧「キリスト教学」下田尾治郎.....	11
同窓会リレー・エッセイ⑨.....	12
「チームワークの大切さを学んだ大学生生活」 古山圭太（14期生）	
キャンパス日誌（8月～11月）	13

〈表紙写真〉

開学前から毎年飾りつけられている
敬和学園大学クリスマスツリー



敬和学園大学のキリスト教主義教育

今日は、宗教部長として、敬和学園大学の教育の根幹にあるものについてお話しさせていただきます。他大学とは異なる「敬和らしさ」というものがあるなら、その源泉はここにこそある、と私たち信じるところの事柄について、お伝えしたいと思います。

●建学の理念

本学は、キリスト教精神に立つ大学です。建学の理念は、その名に表されているように神を敬い、人に仕える（人と人とが相和す社会を創り出す）人間を育てることにあります。このことは学生をキリスト教信者にしようとするものではありません。学生の自主性に重きが置かれる大学にあっては、キリスト教に触れないで済まそうと思えば、いくらでもそうすることが出来ます。また、キリスト教という名前抜きにしても、優れたスタッフによる豊かで充実した教育カリキュラムの提供ができていてを自負しております。にもかかわらず、本学がキリスト教精神に固く立つのは、そこに、人が人間として生きる上での、また豊かな社会が築かれる上での、また学生たちの学びを方向づける上での、大切な指針が込められていると信じ、学生たち一人ひとりに少しでもその豊かさに触れていただきたいと思うからです。

学生に向けられた私たちの願いとは、一人ひとりの学生が自らの命のかけがえのなさ（尊厳）に目覚めると共に、自分とは異なる他者にも同じような尊厳が付与されていることを心に刻み、そのことの土台の上に、他者に仕え、共に生きる社会を創造する人間として育って欲しいということにあります。このような人間の育成にあたり、聖書の教えに基づくキリスト教の人間理解、世界理解を中心に据える教育がキリスト教主義教育といってもよいでしょう。

●唯一無二（比）なる存在

上に述べた理念を具現化するにあたって本学が何よりも心がけていることは、学生一人ひとりを、またその一つひとつの個性を大切にすることです。それは、一人ひとりの学生を、ありのままに受け入れるということでもあります。そのことの根拠には、人間は誰しも、神の深い御心と愛によって、この世に生を授かったとの聖書に基づく確信があります。

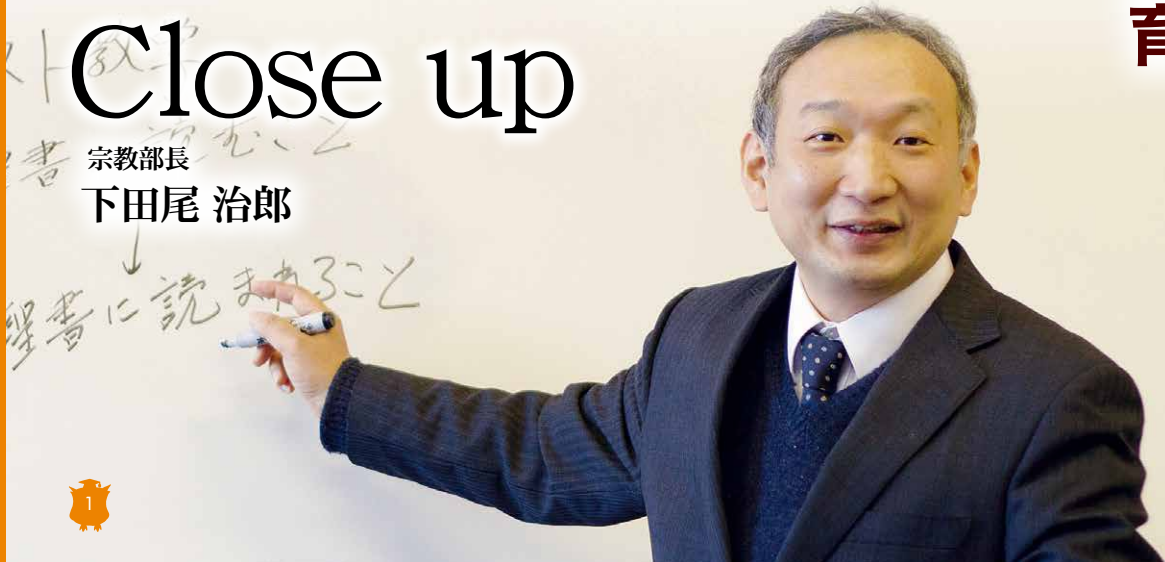
ユニークという言葉は、通常「変わった」とか「個性的な」という意味で使われますが、元の意味を英語の辞書にあたれば、「唯一無二の」あるいは「唯一無比な」といった訳語が出てくるでしょう。私たちは、この言葉の本来の意味におい

Close up

宗教部長

下田尾 治郎

↓
聖書に読まれたこと



て、学生一人ひとりの持つ個性を大事にしています。人は、生まれながらに誰であっても、「一つとあって二つとない」「たった一度限りの人生を与えられた」「他と比べようのない」存在だということ。そのようなかけがえない存在として一人ひとりの人間が創造されたことを聖書は証しています。そのことを受け止める時、人はありのままの自分自身であることを肯定することが可能となる。それはまた、自分以外の存在になる必要などないことを知ることであります。自らの固有の存在が肯定され、受け入れられ、必要とされていることを知ることから学びを始めることができるところに、私たちのキリスト教主義教育の大きな特徴があるといってもよいのです。

●多様性を喜ぶ寛容な人間

ありのままの自分が肯定されていることを知ることにより、今度は、自分とは異なる他者をありのままに承認(肯定)することもできるようになっていくでしょう。他者もまた、唯一無二(比)なる存在であり、かけがえない人であることに気づかされていくのです。人と自分が異なること、また、自分とは異なる存在と共にあることは、神から与えられた恵みであり、喜ぶべきことであるのです。このような多様性を認め合う寛容な人間を育むことこそが、人種的、民族的、宗教的、思想的に自分とは異なる存在を排除し、壁をつくることに躍起に

なっている現代世界を見るにつけても、本学のキリスト教主義教育における大事な使命であると考えています。

●生きる力とは

人と自分が異なることは、能力の多寡の問題、あるいは存在の優劣の問題ではありません。人はその違いによってその存在の価値に優劣をつけることができないのです。それはまた、要らない人間、必要とされていない人間など一人もいないのだということでもあります。

生産性(効率性)を優先させる現代社会においては、ともすれば、それらの尺度によって人間の間には存在価値の序列がつけられ、生産性や効率性のない弱い存在は淘汰されて然るべきとみなされてしまう。そして若者たちには、淘汰されることを避けるために、競争社会において勝ち残ることが求められていくのです。

「生きる力を養う」ということが教育界において取り沙汰されるようになって久しいですが、その言葉は、競争社会において勝ち残る力をつけさせるという意味合いで使われているような気がしてなりません。しかしながら、本学が若者たちの中に培おうとする力は、そのような生き残りの力ではなく、人と人が生かし合い、支え合うことによって深く結ばれていくような(その際、弱い立場の人々が排除されることなく、むしろ中心に置き直されていくような)共に生きる社会を創造していく力であるといつてよいで



チャペル・アッセンブリ・アワーで発表する学生たち

しよう。一人ひとりの人間が大事にされるそのような共生社会を創り出していく力こそが、本当の意味での生きる力であると私たちは信じ、学生たちに養ってもらいたいと考えているのです。

●キリスト教主義教育の要としてのCAH

これまで、本学におけるキリスト教主義教育の理念について記してまいりました。ここからは、実際どのような形において、その教育が行われているかについてお伝えしたいと思います。

本学におけるキリスト教主義教育の要として位置づけられるのが、金曜日のⅡ限に開かれているチャペル・アッセンブリ・アワー(CAH)というプログラムです。年度の第一回目に行われる新入生歓迎公開学術講演会を除いて、通常は、最初の三〇分をチャペル(小礼拝)、後

の六〇分をアッセンブリ・アワーとして守ります。チャペルにおいては、近隣の諸教会の牧師や教職員たちの口を通して、聖書に基づくメッセージが語られます。それらのメッセージは、初めてキリスト教に触れる学生たちには戸惑いに満ちたものかもしれません。けれども、時が経つにつれ、それらの言葉の多くが、自分を見つめるにあたって、また人間関係を築いていく上で、さらには自らの将来の歩みを方向付ける上で、いかに豊かな示唆に富んでいるかに気づいていくことでしよう。

チャペルに引き続いてもたれるアッセンブリ・アワーは、主に、社会や世界で活躍されている方々のお話をうかがう時間です。お招きする方々の多くは、国内外にあって助けを必要とする人々に寄り添い支える尊い働きをされている方々で



学生寮にてサンタ・プロジェクトのキャンドルづくり

す。それらの方々の多様な働きを通して、世界（社会）の諸問題、また人々の苦しみや痛みを知る機会を学生たちは与えられ、自分たちもまた何ができるかを真剣に考えるよう導かれていくのです。また、アッセンブリ・アワーは、実際にそのような働きに携わり始めた学生たちの自主的活動のプレゼンテーションの場としても用いられます。与えられたたまものをもまた培った力を、助けを必要とする隣人たちのために用いようと努力する姿には心を打つものがあります。

●学生サークルならびに学生寮のこと

学生たちのキリスト教精神に立ったサークル活動について、また新設された学生寮についても触れさせてください。

三年前より「俺たちのバイブル」という変わった名前のサークルが立ち上げられました（現在は女子もたくさん加わっています）。活動の主旨は、聖書に学びつつ、奉仕活動にいそむこと。サークルとしても、個々人を見ても着実に成長を遂げています。今では、近隣の福祉施設をはじめ、多くの方々の信頼のもと、多様な働きを展開しています。また、昨年度より、病院や書店、市民の方々の協力のもと、クリスマス前の季節に病院で過ごさなければならぬ子どもたちに本を届ける「サンタ・プロジェクト」の働きも、このサークルがもう一つの学生サークル「Art style of KEEW A」と共に担って来ています。

最後に、今年度の四月より、本学の人間教育の新しい拠点として開かれた学生寮について短くお伝えいたします。

この学生寮は新発田市との「包括連携協定」のもと、新発田駅前に新設された。「イクネスしばた」という複合施設（素晴らしい図書館を含む）に併設され、環境的にも申し分のない寮です。新しい試みですので、大学側も、学生たちも、試行錯誤を繰り返しながらの歩みではあります。それでも、学生の自主性を尊重しつつ成長を促すという、寮開設の際の願いが少しずつ形を取りつつあることを見て取ることが出来ます。自分とは異なる個性を持った友と出会い、共に生きる共同体を創り出すことの苦しみと喜びを数多く経験することにより、寮生一人ひとりが将来に向けて人間として大きく成長することを信じています。

Profile

下田尾治郎 宗教部長・准教授
プロフィール

国際基督教大学、慶応義塾大学大学院を経て、東京神学大学大学院にて学ぶ。最終学歴 プリンストン神学大学大学院 (Th.M)。2014年より、敬和学園大学宗教部長。

著書『牧師とは何か』（共著、日本キリスト教団出版局）等。訳書に『ミケリオーレ』『現代キリスト教神学（上）』（同上）、児童書翻訳に、シントラー『シモンとクリスマスねこ』、ヨーク・ファン・リュウベン『ページェだったいちにんまえ』（共に福音館書店）等がある。

学生寮開設

● **リベラルアーツの学びを深める**
 新発田駅前、図書館と隣接という立地を活かし、新発田市と連携したワークショップやイベントを開催し、寮生同士や地域の方々との交流の中で、教室での学びを実践的に深めます。

● **自主・自立を促す学生自治**
 寮生会議を定期的に行い、寮の運営方法や規則を学生自らが決めていきます。居室は二人で共有し、プライベートを尊重しつつ、協調性を学べる環境です。また、「コミュニケーションスペース」が用意され、いつでも寮生同士で交流できます。

敬和学園大学は、今年四月、創立二五周年記念事業の一環として、産官学の連携の下で学生寮を開設しました。リベラルアーツの学びを深めるため、大学と新発田市が連携し、次の三点に重点をおいた寮運営をすすめています。



建設中の学生寮（居室）



学生寮開寮式（2016年4月16日）



学生寮外観



入口はカードキーでセキュリティ面も安心



希望者には栄養バランスを整えた夕食（500円）を提供

新鮮で楽しい毎日

国際文化学科一年

石野 義貴



私は寮生活が初めてで、最初はちゃんと友達ができるか心配でした。しかし、今ではすっかり慣れて、同期の仲間や先輩とも仲良くなり、寮生活を満喫しています。

普段からほかの寮生と過ごしているので、勉強の相談や明日の授業の話、雑談など気軽にできます。おかげで学生生活を安心して過ごせています。食

事も寮のみなどと食べるのは、家族と一緒に食べるのとはまた違った楽しさがあります。自分にとって今までになかった体験の連続で、とても新鮮な毎日を過ごしています。

寮には月に一回、寮生会議があります。集団生活をしていると、当然問題がいくつか出てきます。その問題を寮生と先生たちと話し合って解決、改善していきます。この会議は、自分の意見をはっきりといえる場で、意見交換もできるので、よりよい改善策を生み出すことができます。

寮ができてまだ一年経っていません。寮一期生として寮のルールや運営方法などの基盤を整えていけるよう、寮生みんなで協力してがんばっていききたいと思っています。

リベラルアーツの学びを深める寮生たち

●安心・安全な居住空間

セキュリティが高く、プライバシーに配慮した生活空間と栄養バランスを整えた食事の提供により、安心して学生生活を送れます。

このような環境の中で、寮生たちは地域社会の中でアクティブラーニングに、安心して積極的に取り組んでいます。

今年一〇月からは、新発田市国際友好の会（SHIP）による、外国語を母語とする子どもたちへ日本語学習支援をする「Jスクール」という活動に寮生たちが協力するなど、具体的な連携もすすんできています。

学生寮は、大学からだけでなく、地域社会の方々との関わりから学び、地域社会に貢献できる人材を育成する場となることを目指しています。



個室には家具類が備え付けられています



困ったことはいつでも寮監さんに相談できます



コミュニティルームにある広いキッチン



乾燥機つきのランドリーはいつでも使えます



楽しいことも困ったことも寮生同士で共有

部活や勉学に集中できる環境

国際文化学科一年

小林 千尋



私は山梨県出身で高校からアーチェリー競技を続けています。敬和学園大学のある新発田市には、昨年の大学入学で初めて来ました。

アーチェリーと勉学に集中できるように、また、知らない土地でも安心して生活できるように学生寮に入りました。はじめは、新しい環境でとても不安がありました。しかし、寮には相談

にのつてくれる先輩や同期の仲間、管理人さんがいて、どんな不安もかき消してくれました。もし、一人暮らしだったらこの不安は消えなかったと思います。また、夕食を注文することができるので、部活で帰りが遅くなってもバランスのよい食事が用意されるので助かります。そして寮が新発田駅に近いのはとても便利です。地域の方々との関わりも深まりますし、部活の道具が多い私にとっては、遠征や帰省での移動が楽なのがうれしいです。

できたばかりの寮なので、規則について改善しなければならぬ点はまだまだたくさんあります。しかし、寮生会議で話し合いを重ねることで、より快適に過ごせています。来年度、後輩たちが来てくれるのが楽しみです。

海外同世代の若者たちとの交流

台湾の姉妹校 長栄大学でのサマーキャンプに参加

一生忘れられない思い出と仲間たち

台湾南部にある長栄大学で行われたサマーキャンプに、八月二日から五泊六日の日程で、敬和学園大学英語文化コミュニケーション学科の学生三名（四年生二名、一年生一名）を派遣しました。

プログラムは、文化交流、台湾の芸術や文化、台湾料理、革新性と創造性を目指すワークシヨップ、台湾南部探訪など、充実した内容でした。長栄大学や各国から参加した学生との学びを通し、将来につながる友情を育んできた様子がかうかがわれます。

長栄大学と本学は、二〇〇五年に海外姉妹校提携を結びました。両校は今後も一層の協力と交流を深めてまいります。

（国際交流委員長 山崎由）



同世代の若者たちと交流を深めました



英語文化コミュニケーション学科四年

和田 勇太

このサマーキャンプでは、フィリピン、台湾、インドネシア、韓国、マレーシアなどの国や地域から、英語、中国語を勉強している学生が集まり、チームに別れて、英語でアイデアや価値観を交換するアクティビティを行いました。

英語に自信を持っていない学生もいましたが、一生懸命自分の意見を伝えるために努力をしていました。みんなで助け合って英語を勉強する環境だったので、素敵な友人関係を築くことができました。このようなアクティビティの後には、台湾の街を観光する機会もあり、歴史のある神社を見たり、買い物に行ったり、本格的な台湾料理を食べることもできました。物価が安い国なので、新鮮な食べ物を安く食べることができ、とても幸せでした。

こんなに短い期間なのに、全く知らなかった学生と一生忘れられない仲間になれるとは思っていませんでした。素敵な思い出ができて本当に感謝しています。

英語が好きなら、新たな文化を知りたい方、コミュニケーション力を上げたい方は、ぜひ参加してみてください。

佐渡でのアクティブラーニング

八月一五、二六日の二日間、房ゼミメンバー八人で、佐渡島での朱鷺を巡るアクティブラーニングを行いました。

今回の活動目的は、朱鷺と自然・農業・人間との文化のおよび社会的関係、朱鷺と日本・中国との国際的関係の変化について理解し、教室で学んできた「持続可能な経済・経営システム」構築の真意を体験することにあります。

初日には、かわいい朱鷺三羽と偶然出会い、感動的瞬间を味わいました。そして、朱鷺生息環境を整備するピオトープ作りのボランティア活動でよい汗を流し、朱鷺と生きもの、人間との共存の素晴らしさを認識しました。

（国際文化学科 房）



ピオトープ作りに挑戦（左から4人目が房先生）

敬和学園大学とキリスト教

敬和学園大学は、キリスト教主義、国際主義、地域主義を教育方針の三つの柱にしています。すなわち、「一人ひとりの個性を大切にし、地球規模で考えて、地域社会で仕える人」を育成しています。

キリスト教主義といっても学生をキリスト者にすることが目的ではありません。「命の源」である神が創造した自然界と生命を尊び、「人權」「共生」「平和」にアクセントを置いた教育を展開しています。頭で考える「知育」、体で行動する「体育」だけでなく、聖書に基づいて「心の教育」である「徳育」を行い、バランスの取れた人間教育をして、「隣人に仕える国際的教養人の育成」(ミッション・ステートメント)を目指しています。

本学には「チャペル・アッセンブリ・アワー」という礼拝と講演の時間が毎週あります。その時間はどの学生も出席できるように、授業がありません。

現在はそのような職業に就いても、「良心」に基づいて行動する職業倫理が大切になっていきます。また、一九世紀から二〇世紀の「ものづくり」による第二次産業を中心にした産業社会の後に続く、二一世紀の産業後社会では、人へのサービスを中心にした第三次産業が主たる産業になってきています。そのための「人づくり」、すなわち「人に仕える」サービス精神と「人をもてなす」ホスピタリ

ティを身につけた人の育成が求められています。

キリスト教に基づいた真の人間教育である「キリスト教主義リベラルアーツ教育」は、一二世紀にヨーロッパの修道院から大学が誕生した時の大学教育の伝統を引き継いでいます。その精神は次の詩に体现されています。

手いっぱい

安積 得也

眼前のことで手いっぱい
花を忘れまい
大空を忘れまい
おおいなるものましますことを忘れまい

(学長 山田)



チャペル・アッセンブリ・アワーで説教をする山田学長

栗島でのアクティブラーニング

敬和学園大学は、二〇一四年一〇月、栗島浦村との連携協力協定を結び、今年度からは、栗島浦村の地域活性化をテーマに、まちカフェ・りんくでの「栗島フェア」開催、栗島特産品としての「アマドコ口茶の開発」という二つのアクティブラーニングに取り組んでいます。

「栗島フェア」では、学生たちが栗島伝統料理を現地の地域住民から伝授してもらい提供する「栗島ランチ」を二回実施しました。また、「アマドコ口茶の開発」では、栗島に広く分布する山菜の一種であるアマドコ口の根茎に注目し、商品化を目指して、試飲会などを開いています。これらの活動については、来年二月に栗島浦村での報告会開催を予定しています。(共生社会学科 趙)



住民の方と一緒にアマドコ口の根茎を採取しました

参加者皆さまの輝きを引き出しました

第二六回敬和祭のご報告

一〇月二二、二三日に敬和祭を開催しました。今年度のテーマは、「一期一会く紡ぎだせ！みんなの輝き〜」。敬和祭を通して皆さんの持っている輝きをもっと輝かせようという想いを込め、実行委員一丸となって準備に取り組みました。

私は、敬和祭実行委員二年目で実行委員長を務めさせていただきました。各部門の段取りや会議の進行、まとめ、各団体の要望に応じた対応など、今までにない経験をさせていただきました。準備の甲斐もあり、敬和祭の二日間、屋台や演奏、スゴちゃんお笑いライブなどにたくさんのお客さまに来ていただき、本当にうれしかったです。実行委員会のメンバーをはじめ、皆さんのご協力に感謝します。

(敬和祭実行委員長 大澤詩真)



屋台と学生ステージなど、皆さまに楽しんでもらいました

笑顔で締めくくった、最後の敬和祭



英語文化コミュニケーション学科四年 庭野 果菜

今年の敬和祭は、私にとって四年間の集大成としてふさわしいものでした。

一日目は、チアダンス公演をさせていただきました。チアリーダー部は四年生が多く、みんな揃っての練習の時間をなかなか取ることができませんでした。しかし、敬和祭のために就職活動の合間を縫って練習に取り組み、心一つにした最高のステージを作り上げることができました。

二日目は、チアリーダー部として綿あめの屋台を出店させていただきました。ご来場された方が元気になって、楽しんでいただけるようにと、綿あめを買ってくださった方一人ひとりに、コールという応援をさせていただきました。お客さまが笑顔になってくれる様子を見ることができて私たちもうれしかったです。

私たちにとって最後の敬和祭が成功できたのは、多くの方の支えがあつてこそだと思えます。敬和祭実行委員の皆さんをはじめ、教職員の皆さま、そのほか、敬和祭に関わる全ての皆さまに感謝申し上げます。

受験シーズン突入

一般・センター利用入試のご案内

いよいよ受験シーズンも本番を迎えます。一般入学試験では、一月二八日実施のA日程を皮切りにB日程、C日程と三回の募集があり、それぞれ、英語・国語の学力試験により可否を判定します。

また、大学入試センター試験利用入学試験では、一月一四日、一五日に全国一斉に実施される大学入試センター試験の成績を利用して可否を判定します。

大学進学をご検討の方がいらつしやいましたら、お気軽に広報入試課までお問い合わせください。(入試委員会)

2017年度入学試験日程

入試区分	出願期間	試験日
一般入試	A 日程 1/5 (木) ~ 1/23 (月)	1/28 (土)
	B 日程 1/24 (火) ~ 2/7 (火)	2/14 (火)
	C 日程 2/20 (月) ~ 3/2 (木)	3/8 (水)
センター利用入試	1 期 1/5 (木) ~ 1/23 (月)	平成 29 年度 大学入試 センター試験
	2 期 1/24 (火) ~ 2/17 (金)	
	3 期 2/20 (月) ~ 3/17 (金)	
AO 入試	4 期 1/5 (木) ~ 1/23 (月)	1/31 (火)・2/8 (水)
	5 期 2/20 (月) ~ 3/21 (火)	3/23 (木)

利用者の方々と学生スタッフが一体感を持って楽しみました

ふれあいバラエティのご報告

ふれあいバラエティは、地域の福祉施設の方々を大学にお招きし、学生と交流していたくイベントです。学生自らが企画し、毎年開催しているもので、今年も共生ボランティアネットのメンバーを中心に実行委員会を組織しました。

今年のテーマは「アメリカン」でした。海外旅行をしているようなイメージで飾り付けや緑日風のブースに工夫を凝らしました。また、昨年好評だったレクリエーションを取り入れ、お客さまとスタッフが一体感を持って楽しめるように打ち合わせを重ね、当日に臨みました。六〇名以上の学生が力をあわせ、今年も成功させることができました。

(ふれあいバラエティ実行委員 朝妻夏海)



利用者の皆さまと一体になって楽しみました

一生の思い出に残る一日



共生社会学科 年

小幡 紘平

一年生のころからふれあいバラエティに参加し、三度目の今回は実行委員長を務めさせていただきました。

準備は幹部メンバーが中心となって五月ごろから始めました。当初はどう進めていけばよいかがよく分からず、順調とは言いが難かったのですが、先輩や後輩たち、友人に助けられながら、一〇月初旬にはほぼ準備を終え、本番に臨むことができました。

当日は緊張こそあったものの、落ち着いてお客さまをお迎えすることができました。途中確認不足により、進行が変わってしまつというハプニングがありました。が、全体に目を配り、何か起きたらすぐに現場に駆けつけて対応するようにしていたので、大きな事故なく無事に終えることができました。

実行委員を代表することで、施設の利用者さんや職員の皆さんをはじめ、多くの方々とはこれまでとは違うつながりをつくることができました。

最後に、実はイベント当日は私の二一歳の誕生日でもありました。一生の思い出に残る一日とすることができました。

一月五日より出願スタート

学業選抜特待生制度のご案内

二〇一七年度入学者を対象とした「学業選抜特待生入試」の出願がはじまります。一月二八日に実施する「学力試験型」または「センター試験利用型」(二期)(二期)(三期)の学業選抜特待生入試で基準を満たし合格すると、学費が全額もしくは国立大学並みに減免されます。すでに、他の入試で合格し、入学手続きをすませている方も対象となります。毎年この制度を利用した特待生が入学し、大学で活躍しています。学業選抜特待生を目指し、多くの意欲ある受験生がチャレンジしてくれることを期待しています。(入試委員会)

学業優秀な学生をバックアップ!



85%以上得点で全額、
70%以上得点で47万円減免されます

変わらない教育理念のある母校で



英語文化コミュニケーション学科
准教授
荒木 陽子

一〇月一日付で英語文化コミュニケーション学科に着任しました荒木陽子です。名前に聞き覚えのある方もおられると思います。敬和学園大学には、一九九五〜九八年度は学生として、その後二〇〇五〜〇八、二〇一〇〜一五年度は非常勤講師としてお世話になりました。そして、このたび願いがかない、高等専門学校、他大学での教員経験を経て、母校に戻ることができました。

故郷も母校も様変わりしました。校舎は私が学生のころよりも大きくなり、逆に学生数は若干少なくなりましたので、とても広く感じます。ただ、着任からひと月が過ぎ、変わらないところも見えてきました。今も昔も、多様性に寛容な大学の温かい雰囲気、そして、温かいながらも、学生の教育に関しては妥協しない教職員の姿勢は変わっておらず、卒業生として誇りに思います。

学生の皆さんには、「こうるさい」と思われるでしょう。ただ、同窓生でもある皆さんの未来を考えると、おせっかいだと思われても、できるだけことはさせていたがたいのです。どうぞよろしく願います。

誰もが社会参加できる場を考える



共生社会学科
専任講師
坂東 希

二〇一一年から大阪にあるNPO法人で勤務しながら、大学院では非行・犯罪心理臨床のゼミで学んできました。主なフィールドは、児童自立支援施設や刑務所、生活困窮者自立支援事業、「まちづくり」をテーマに活動するNPOです。

どの現場でも「聴く」ことのおもしろさと難しさを味わってきました。私たちが生きる社会には、見えにくい課題がたくさんあります。虐待やDV、いじめなどの暴力、貧困、差別など、人に言いにくく見えづらい困難を抱え、社会的に孤立している人もいます。既存の制度や資源では社会の多様な課題に対応しきれない現状がある一方で、誰もが無理なく社会参加できる場を生み出そうとする人や活動が存在します。その主体も当事者、民間団体、企業、行政など多様です。着任した共生社会学科で、人や地域のニーズを発見するための工夫や、多様な働き方や社会参加のあり方について、ユニークな事例をもとに学生や地域の皆さんと一緒に考えられたらと思います。
見渡せる景色と豊かな資源(特に食材)もじっくり味わいたいです。よろしくお願います。

二五周年記念募金者ご芳名

(二〇一六年一〇月三一日現在、敬称略)

〈一般〉

- 菅野 昭洋、長谷 友寛
- 渡辺 美穂
- 株式会社コバヤシ写真機店、
- 小柳労務コンサルティング、
- 株式会社長崎屋、新発田信用金庫、
- 小野寺税務会計事務所

〈卒業生・在学生・保護者〉
和田 惇(二三)

〈学園関係〉

- 金子 弘幸、小端 康弘
- 倉島 謙、久島 公夫、
- 佐藤 睦郎、鈴木 佳秀

() 内、漢数字は期生、算用数字は回数

皆さまからの記念募金は、学生寮や奨学金などに活用させていただきます。
〈郵便振替口座〉

〇〇五五〇・五・一〇二四二三
敬和学園大学

聖書を通じて、自らと世界を深く見つめます

聖書は前向きに生きるための指圖書

この授業においては、キリスト教の聖典である聖書を読み進めながら、その世界観、人間観に触れていきます。キリスト教は、歴史を通じて文化や文明の基礎を形作り、現在も世界において最も信仰されている宗教であるものの、日本においては、圧倒的にマイナーな宗教です。皆さんにとって、その世界を知ること、異文化との出会いに近いかもしれませんが、しかし、真摯に向き合うことを通して、はじめのうちは馴染み薄きその世界が、より広き世界（社会）とそこに生きる人々を理解する上での広き窓であり、自らを深く見つめる上でのよき鏡であることに気付いていくことでしよう。



国際文化学科 専
森田 薊

聖書は堅苦しくとっつきにくいというイメージを持つ人も多いのではないのでしょうか。実際、私もそのように思っていました。しかし、そのイメージを払拭してくれたのが、この「キリスト教学」の講義です。

この授業では、聖書に書かれている人物やできごとについてわかりやすく説明してくれます。その話の中には、厳かなイメージの聖書とは思えないほど、人間らしい人物が登場します。部下の妻に手を出す王さまや弟を妬んでエジプトに売り飛ばす兄など、人間らしいというより、むしろ道徳的にどうかと思うような人たちですが、そこがまた現実味があり親近感を覚えます。このようなお話を聴くことで、聖書のお話を自分の生活に置き換えて考えられるようになりました。

聖書にはこれからの人生を豊かにするためのたくさんのメッセージが記されています。聖書は前向きに人生を歩むための指圖書にもなるのです。そんな聖書を読むきっかけを与えてもらえたことに感謝しています。

一般寄付者ご芳名

(二〇一六年一〇月三一日現在、敬称略)

〈一般〉

山際 多美子、
日本キリスト教婦人矯風会新潟、
新津教会、新発田教会、
株式会社大西

〈卒業生・在学生・保護者〉

山本 朋史(一四)

〈学園関係〉

大澤 秀夫
後援会(三)、オレンジ会

(一) 内、漢数字は期生、算用数字は回数

皆さまからのご寄付は、学生生活の
充実に活用させていただきます。

〈郵便振替口座〉

〇〇六三〇・九・一九八九六
敬和学園大学



12月は、クリスマスツリーの起源を紹介



チームワークの大切さを学んだ大学生活



二〇〇七年度卒業
古山 圭太

大学を卒業し、大学の隣にあるグルー
プホーム「富塚・のぞみの里」で働いて
います。今はユニットのリーダーとして、
一八名の利用者の皆さまと共に生活して
います。最初は私一人だった卒業生
も、今では私以外にも三名が勤めていま
す。また、最近では学生サークルが畑仕
事に来てくれたり、ゼミや個人でのボラ
ンティアなど学生の出入りが多くなっ
てきました。まさに、敬和学園大学と共生
する施設となってきました。また、卒業
してからも大学を訪れた時には、まるで
学生時代のように温かい声をかけていた
だけ、いつも感謝しています。

学生時代は、ブラスバンド部の活動に
打ち込み、三年次には部長を務めさせて
いただきました。音楽経験はありません
でしたが、未経験であった私を温かく迎
え入れてくれた先輩方にはとても感謝し
ています。合奏を通して、みんなであつ
たものをつくっていくということの大変
さと素晴らしさを知ることができた
と思っています。合奏以外でもレクリエー
ションなどのさまざまな活動で学年や性
別を超えたコミュニケーションの取り方

やチームワークの形成の仕方も学ぶこと
ができました。どれだけ期間が経っても
顔をあわせると昔の学生のころに戻った
かのようにワイワイやれる大切な仲間た
ちと出会えました。

サークル活動で学んだチームワークの
大切さと素晴らしさは、今の仕事でも活
きています。のぞみの里は世代や性別の
違う、さまざまな考えを持った職員が集
まっています。利用者さまが安心して
日々の生活を過ごしてもらえるように、
職員同士で同じ方向を向いて日々のケア
を行っていくためにどのようにしていけ
ばよいか、職員間での統一したケアを行
うためにはどうしていけばよいかなどを
日々考えながら行動しています。そんな
自分を支えているのは、学生生活で学ん
だチームワークの大切さとチームの素晴
らしさだと思っています。



利用者の皆さまと生活を共にしている古山さん
(写真中央)

学事予告

- ◆ 一二月 ◆
 - 三日 第一回入学前スクーリング
 - 一〇日 A〇入学試験(三期) 面談日①
 - 一六日 クリスマス行事
 - 二五日 冬期休暇(一月四日まで)
 - 二六日 A〇入学試験(三期) 面談日②
- ◆ 一月 ◆
 - 四日 休業(振替休日)
 - 五日 講義再開
 - 一〇日 卒業論文提出締切
 - 一四日 大学入試センター試験(一五日まで)
 - 二八日 一般入学試験(A日程)
 - 外国人留学生入学試験(一期)
 - 学業選抜特待生入学試験(学力試験型)
 - 二九日 社会福祉士国家試験
 - 三二日 A〇入学試験(四期) 面談日①
- ◆ 二月 ◆
 - 四日 後期講義終了
 - 六日 後期末試験(一一日まで)
 - 八日 A〇入学試験(四期) 面談日②
 - 一二日 春期休暇(四月四日まで)
 - 一三日 後期集中講義(一七日まで)
 - 一四日 一般入学試験(B日程)
 - 一八日 第二回入学前スクーリング
 - 二一日 後期末追試験(二三日まで)
 - 二七日 図書館蔵書点検(三月一〇日まで)
- ◆ 三月 ◆
 - 八日 一般入学試験(C日程)
 - 外国人留学生入学試験(二期)
 - 再試験(九日まで)
 - 一〇日 学内合同企業説明会
 - 二三日 A〇入学試験(五期) 面談日①②
 - 推薦入学試験(二期)
 - 二四日 卒業式
 - 卒業記念パーティー
 - 三二日 学年終わり

キャンパス日誌

8 August

- 2 村上市立神納中学校大学見学 (3年生 32名)
 3 コンプライアンス・研究倫理研修会
 5 夏期休暇 (～9月28日)
 前期集中講義期間① (～11日)
 聖籠町キッズカレッジ (陶芸教室) ① (12名)
 教員免許状更新講習 (33名)
 8 前期補講期間
 12 夏期特別休業 (～15日)
 13 前期補講期間
 16 教育活動アクティブワーク (写真①)
 (～18日、国立妙高青少年自然の家)
 20 AO入学試験 (1期) 面談日①
 オープンキャンパス④ (100名、写真②)
 22 前期集中講義期間② (～26日)
 26 新津南高校大学見学 (1年生 37名)
 27 AO入学試験 (1期) 面談日②
 聖籠町キッズカレッジ (陶芸教室) ② (9名)
 30 職員研修会
 31 社会福祉士国家試験対策講座③
 (～9月2日、国立妙高青少年自然の家)



9 September

- 9 AO入学試験 (1期) 合格発表
 22 AO入学試験 (2期) 面談日①
 英検2級・準2級一次・二次試験対策英語集中講座②(40名)
 28 中条高校大学見学 (1年生 36名)
 前期卒業式
 29 秋季入学式
 30 履修相談日



10 October

- 1 後期講義開始
 履修登録期間 (～7日)
 AO入学試験 (2期) 面談日②
 7 AO入学試験 (2期) 合格発表
 チャペル・アッセンブリ・アワー⑭
 説教 榎本恵 アシラムセンター主幹牧師
 「あなたの未来に希望はあるか」
 前期エッセイ・コンテスト授賞式
 前期資格取得奨励奨学金授与式
 8 社会福祉士模擬試験 (第2回)
 聖籠町ぶどう狩り交歓会 (12名、写真③)
 12 北越高校大学見学 (1年生 53名)
 14 村上桜ヶ丘高校大学見学 (1年生 80名)
 チャペル・アッセンブリ・アワー⑮
 説教 下田尾治郎 宗教部長「いないいのち？」
 講話 John Douglil 龍谷大学文学部教授
 「In Search of Hidden Christians」
 20 新発田市オープンカレッジ⑤
 講師 原由美 写真の町シバタ・プロジェクト実行委員
 「まちの記憶」(9名)
 21 ふれあいバラエティ (65名)
 新発田中央高校大学見学 (1年生 43名)
 22 第26回敬和祭、進学相談会 (～23日)
 ホームcomingデー (～23日)
 24 履修登録確認期間 (～28日)
 26 新発田市立猿橋中学校職場体験活動 (～27日、2年生 2名)



- 28 チャペル・アッセンブリ・アワー⑯
 説教 山崎ハコネ 准教授「識別する知恵を与えたまえ」
 講話 LGBT 人権研究グループ Keiwa-sign
 「LGBTに関する学生意識調査結果報告」
 胎内市立中条中学校大学見学 (3年生 31名)
 新発田市オープンカレッジ⑥ (写真④)
 講師 梶浦麻子 講師
 「ベジタリアン料理とその文化的背景」(4名)



11 November

- 3 ウィークデー・オープンキャンパス (26名)
 4 チャペル・アッセンブリ・アワー⑰
 説教 藤野豊 教授「熊本から鳥取へ”いのち”を問う」
 講話 Sound Traveler Band
 Patty Kunze Tatum & Bob Tatum
 「American Folk Music」
 5 1・2年生保護者との懇談会 (44名)
 聖籠町キッズカレッジ (英語教室) ② (9名)
 9 企業との就職懇談会
 (ANA クラウンプラザホテル新潟、118社、写真⑤)
 阿賀野高校大学見学 (2年生 2名)
 10 新発田市オープンカレッジ⑦
 講師 マルチヌ・ツモト 講師
 「フランスの家庭料理3」(9名)
 11 チャペル・アッセンブリ・アワー⑱
 説教 五十嵐光 共生社会学科3年
 「これまでとこれからの寮生活」
 講話 本田龍輔 独立行政法人国際協力機構 (JICA)
 東京国際センター市民参加協力第一課市民参加協力調整員
 「世界で働く」
 12 推薦入学試験 (1期) (指定校 I・II、スポーツ) 試験日
 14 相談援助実習2 (～26日)
 フィールド・トレーニング1 (～25日)
 18 推薦入学試験 (1期) (指定校 I・II、スポーツ) 合格発表
 チャペル・アッセンブリ・アワー⑲
 説教 下田尾治郎 宗教部長、俺たちのパイブル
 「サンタ・プロジェクト」
 講話 丸島宏太 就職委員長「就職活動について」
 19 「地域学入門」新発田フォト・ウォーク (写真⑥)
 25 チャペル・アッセンブリ・アワー⑳
 説教 宇田川深 法人副理事長「敬和愛人」
 講話 桑原ヒサ子 学生支援センター長
 「今年4月1日に施行された
 『障害者差別解消法』について理解しよう」
 クリスマスツリー点灯式
 26 大学・高校合同クリスマス研修会 (敬和学園高校)



Gems in KEIWA

チャレンジ学生ファイル Vol.53

温かい気持ちに溢れた寮を目指して

英語文化コミュニケーション学科 2年
川崎 千夏



寮生たちからメリークリスマス! (右端が川崎さん)



山崎由紀先生のコメント

ゼミで社会問題を読み解く時でも、多様な視点を理解し、個々の人間が感情を持って行動した結果ということをクラス全体に再認識させてくれる川崎さん。静かな印象ですが、その意志・行動力・知的好奇心にはいつも驚かされています。全国のサンタ・プロジェクトの報告会でも決意に満ちたスピーチを行い、並みいる大人のサンタたちの感動を呼びました。寮長としての活動にも大いに期待しています。



私は、4月の寮開設と同時に1人暮らしをやめて寮に入りました。一番の理由は、大学生活をより充実したものにしたいという気持ちが強かったからです。

今、女子の寮長をやらせていただいています。人前に立ち、みんなを引っ張っていくことは初めてで、試行錯誤を繰り返しながらも学びの多い充実した毎日を過ごしています。しっかり者の副寮長、頼もしい1年生、優しい寮監・管理人さん、多くの素敵な方々との出会いに恵まれ、支えられながらみんなで考え、悩みながらよりよい寮をつくるため日々がんばっています。私1人の力は微力ですが、みんなの協力が大きな力となり学生寮は少しずつですが着実に前へ進んでいます。これからもお互いに切磋琢磨しあいながらみんなでこの学生寮をつくり上げていきたいです。

「みんなが居心地よく帰ってきたくするような、温かい気持ちに溢れた寮にしたい」と開寮式で話した自分自身の初心の気持ちを忘れずに、入ってよかったと1人でも多くの寮生が思えるように寮長として、精一杯がんばっていきます。



敬和学園大学の最新情報

敬和学園大学

検索

www.keiwa-c.ac.jp

